

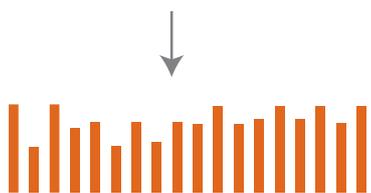
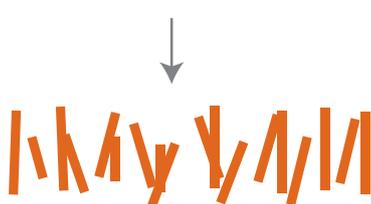
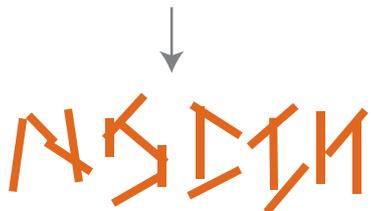
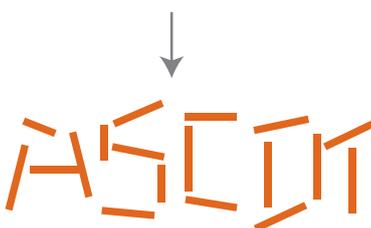
コミュニケーションツールとしての役割を果たすシンボルマーク



弊社のシンボルマークはデザイナー佐藤卓氏プロデュースにより、都市を主張するシンボルの中に「ASCOT」の文字が隠されたロゴデザインになっています。

このマークには「プロセス」があり、このマークが「人と人をつなぐコミュニケーションツールになる」というこれまでにない画期的なアイデアでつくられています。

ASCOT



このマークは
これができる「プロセス」に最も意味があり、
このシンボルマークがコミュニケーションツールとなる。

業界内、他業種の企業と
シンボルマークの考え方
見せ方・使い方の違い。

分かりやすいだけでなく
シンプルかつ
印象に残るデザイン。

デザインされたシンボルマーク
というだけでなく
コミュニケーションツール
として役割を果たす。

■コンセプト

都市のように見える18本の柱からなるシンボルマークは、一度組んだASCOTという文字を解体し、書き順に従い左から整理整頓したものとなっています。

つまりアスコットという名前ができ、それが文字というデザインされたものになりそれを1本1本の素材に戻したということです。

このシンボルマークができるプロセスが、アスコットが目指す「MORE WITH LESS」の思想を象徴しています。

「MORE WITH LESS」には、快適な環境を提供するためにできるだけ余計なことはしないで最良の素材を提供するという意味が込められています。

このシンボルマークは、完成されたものを表そうとしているのではなく、その場ならではの環境に可塑していく可能性を秘めた資材を表している、全く新しい考え方に基づくアイコンです。

■佐藤卓氏（デザイナー）のコメント

どのアプリケーションに使用しても、すぐ企業イメージが伝わるデザイン・色になっています。

例えば、封筒のデザインは封の部分の工夫されたシンボルマークを配置させることにより受取った人はすぐにアスコットからの封筒と分かることができます。また、シンボルマークの浸透を図ることができるため、潜在的に記憶に残るものとなっています。

■審査員の評価のポイント

同社の企業理念がうまくビジュアル化されており、単なるロゴマークに終わらず、同社の伝えたいメッセージを見た人に想起させるデザインである。同時に、コミュニケーションツールとしても機能するデザインであり、イメージづくりにも役立つ点を評価した。

